

Agenda

- 1. NTTデータのご紹介
- 2. 地域創生における社会課題
- 3. 地域創生の取組紹介





01

NTTデータのご紹介



NTTデータの事業

NTTデータは、ITに関するあらゆるサービスや最先端テクノロジーを組み合わせ、 お客さまにとって最適なサービス・ソリューションをグローバルに提供する。

NTTデータの主な経営資源・実績 (2022年3月期)



総資産

3兆845億円



従業員数

151,600人超

参考: NTT Ltd.との 海外事業統合後 約190,000人



売上高 (33期連続増収)

2兆5,519億円



連結子会社

312社



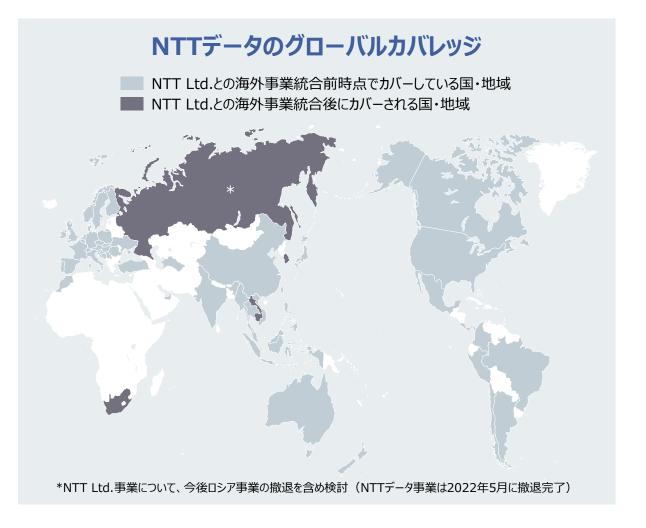
ビジネスパートナー*

約160社 約62,000人 *国内のみ



売上高 (NTT Ltd.事業込)

3兆6,000億円超





ソーシャルデザイン推進室のミッション

NTTデータは社会インフラサービスの提供を原点に創業し、特定の企業・業界向けのシステム・サービスも提供してきました。 コロナ禍において、ITシステムの分断により生じた社会課題の解決に向けて、

企業・業界・社会に横ぐしを通した新たな仕組み・サービスの担い手としてソーシャルデザイン推進室が設立されました。

社会のさまざまな変化

モノ売りからコト売りへ



デジタル技術の進歩



複雑化する生活者の課題



生活者のWell-beingの向上

豊かで調和のとれた社会の実現



生活者視点で新しい社会をデザイン、デジタルを活用し 企業・業界の枠を越えたビジネスに取り組む



ソーシャルデザイン推進室が解決を目指す社会課題テーマ







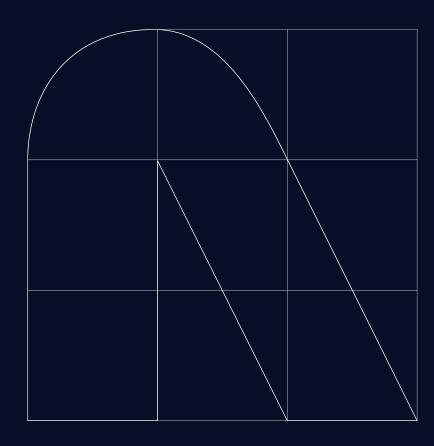


サプライチェーン強靭化®



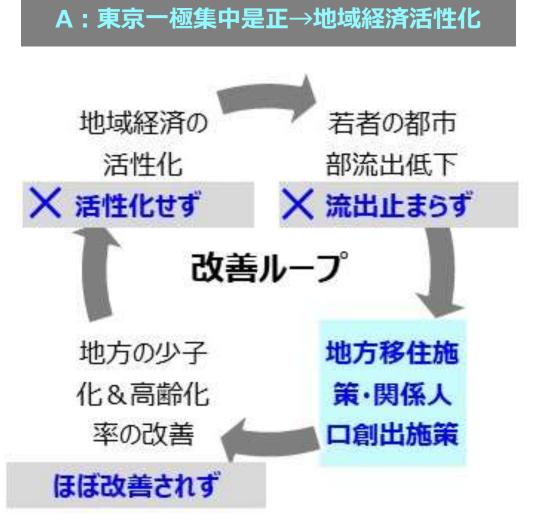
02

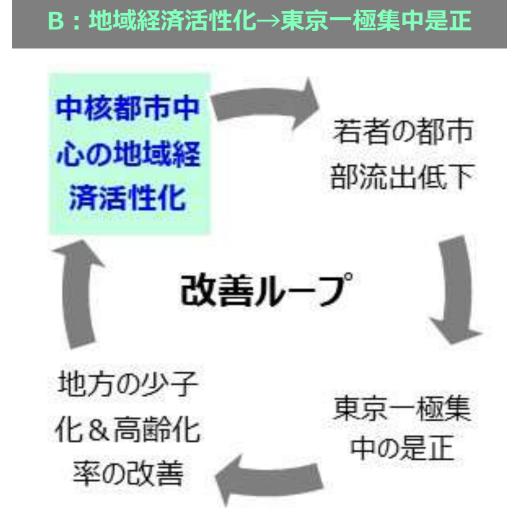
地域創生における社会課題



地域創生における社会課題例:東京一極集中

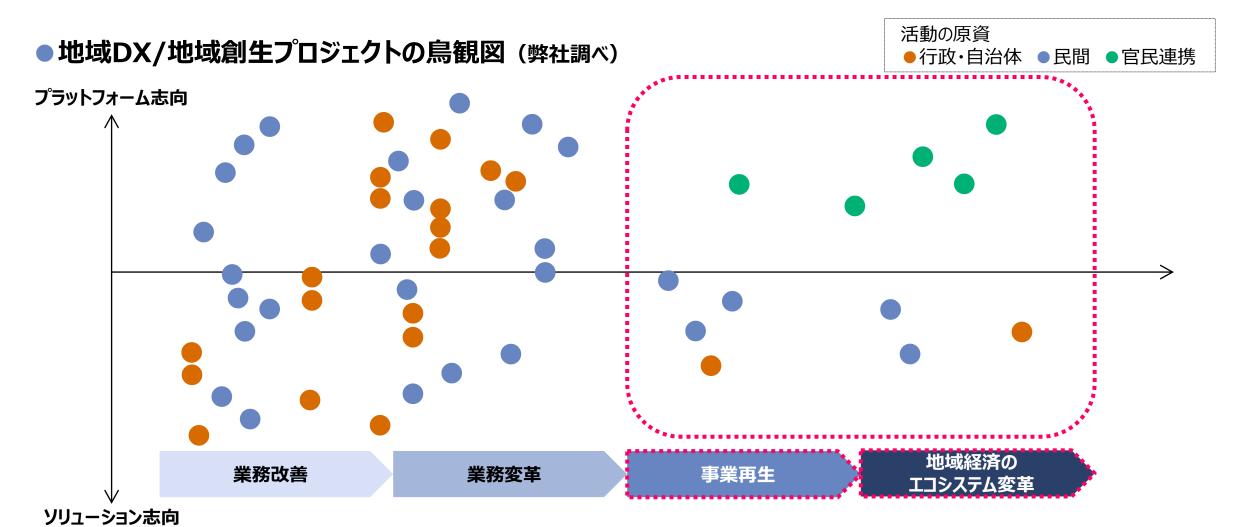
- > 地方移住や関係人口創出施策を起点とした取組(A)では、なかなか成果に繋がりにくいのではないか。
- > 地域経済活性化を起点とした取組 (B) から始めるべきではないかと考えている。





日本の地域DX/地域創生プロジェクトの実態

▶ 地域DX/地域創生プロジェクトは全国各地に存在。年間 2 兆円以上の国家予算が投じられているが、大半がサステナブルな取り組みになっていない



日本の地域DX/地域創生プロジェクトがサステナブルな取組みにならない要因







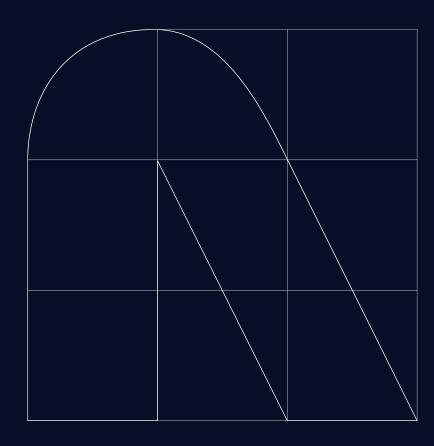
民間企業や金融機関による 中長期的な投資

地域DXを担える 人材の育成・創出 地域ぐるみかつ 市民の巻き込み



03

地域創生の取組紹介

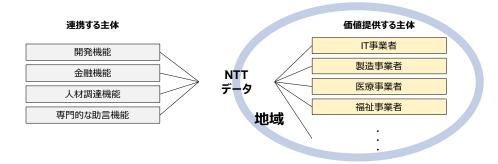


NTTデータ(ソーシャルデザイン推進室)が目指す地域創生

- 地域エコシステムを変革するプラットフォームを推進し、持続的な地域経済の成長を目指します。
- > そのために、ローカルプレーヤーの連携による事業推進、グローバル経済の在り方を前提としたエコシステム構築を目指します。

1 □ 一力ルエコシステムのイノベーション をリードする

ローカルな主体の連帯による地域経済のエコシステムの変革を推進する事業 (地域プラットフォーム、コレクティブインパクト等)



特徴

自治体・公的セクター、地域金融機関、地域企業に加え、大学・研究機関等が参加

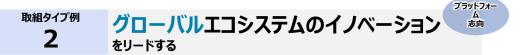
主な事例

- つくばグローバルイノベーション推進機構
- 金融庁地域課題解決支援チーム

NDの役割

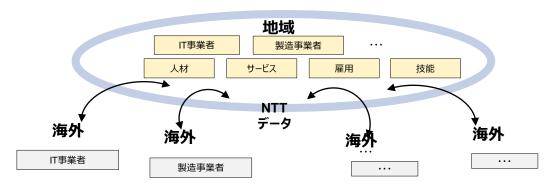
公共、金融、法人等をつないだ、 フォーサイト&デジタル起点の変革の

オーケストレーション



未来のグローバルな経済のあり方を構想しながら、地域のエコシステムの再編 を促す事業

(グローバルアウトソーシング、産業立地、越境EC等)



特徴

地域と海外をつなぐハブ機能として、国内企業へのグローバル市場の開拓支援、国外企業への産業立地支援

主な事例

- 大田区産業振興協会
- 熊本菊陽町

NDの役割

販路やサプライチェーン構築支援などに加え、 人材やリスク管理なども含めたトータルな

グローバル経営の伴走



NTTデータの取り組み事例:長野県(発酵バレーNAGANO)



民間主導のコンソーシアム (2023.11.24 発足)

【コンソーシアムの狙い】

「長野県が誇る発酵食(健康食)」の魅力を発信し、 発酵・長寿県というブランドを構築する

【コンソーシアムの構成】

参加団体·企業®

長野県の8つの発酵食品団体や企業

(味噌・醤油・日本酒・ワイン・漬物・納豆・酢・チーズ)

'協賛・後援'







marukome NTT Data

課題と取り組みの方向性

- ▶ グローバルエコシステム/ローカルエコシステムを構築し、サステナブルな地域創生/地域DXの実現を目指します。
- > これらの取り組みは、「時間や場所、組織の枠組みに囚われない」新たな働き方を組み合わせることで実現できるのではないか。

コンソーシアムが抱える課題

①海外販路拡大 を見据えた体制の構築

②コンソーシアム運営 (推進力・人材・資金)

取り組みの方向性

グローバルエコシステムの構築

• グローバル市場の出口を見据えた 体制構築

ローカルエコシステムの構築

- · CDO補佐派遣(例:酒田市)
- DX人財の育成(例:金沢大学)
- ・ オンライン副業による中小企業支援 (例:鳥取県)

新たな働き方 (例)

- 学生⇔社会人
- ・オンライン



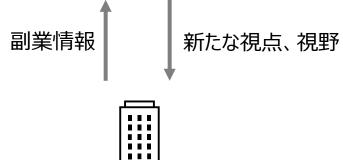
オンライン副業の例:鳥取県

- > NTTデータ社員が副業を通じて地域経済に貢献する。
-) 越境経験により、新たな視点・視野を獲得し、NTTデータでの新規事業の創出に活かしていくことを期待。



地域経済への貢献
NTTデータでは
得られない経験





最後に

- 地域創生の在り方 大企業と地域の中小企業が共存・共創していくことが、 目指すべき地域創生の在り方ではないか。
- 個人や社員の働き方 「時間や場所、所属組織に囚われず」多様化していく ことが望ましいのではないだろうか。

